

## 第25回 サル疾病ワークショップ 2016

- 【日時】 2016年7月2日 (土) 9時45分～  
 【場所】 麻布大学 8号館7階 百周年記念ホール (神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71)  
 【参加費】 3,000円 <要事前登録; 参加申込締切 2016年6月23日>

### 「サルの集団飼育とその対応」

前回のワークショップでは、研究対象としてのサル類について、さまざまな分野から、それぞれの切り口で情報を提供頂きました。その中から、今回、実験動物分野にて、動物福祉、AAALACへの対応から集団飼育に取り組まれる方の苦悩の声をピックアップさせていただきます。また、集団飼育の問題として、サルの社会性や感染症に焦点をあてて、これらの基本知識、日常的な対応について、情報を共有し議論できる場にできればと願います。

### プログラム

- 連絡・報告事項 / サル類の疾病と病理のための研究会事務局 [9:45～10:00]
- ワークショップ「サルの集団飼育と対応」の主旨説明 / 佐竹 茂 (新日本科学) [10:00～10:05]
- セッション 1** 座長: 山海 直 (医薬基盤健康研)
1. 実験動物としてのサルの集団飼育について考える / 山海 直 (医薬基盤健康研) [10:05～10:20]
  2. サルの社会性・生態に関する基礎知識 / 半谷 吾郎 (京大霊長研) [10:20～11:20]
- ポスターセッション (昼食)** 座長: 小野 文子 (千葉科学大学) [11:20～12:50]
- セッション 2** 集団飼育における実際の対応 座長: 石坂 智路 (第一三共株式会社)
3. 受託会社の立場から / 藤井 雅典 (ハムリー) [12:50～13:20]
  4. 製薬会社の立場から / 小山 公成 (アステラスリサーチテクノロジー) [13:20～13:50]
- 質疑 [13:50～14:00]
- セッション 3** 座長: 板垣 伊織 (予防衛生協会)
5. 日常的に問題となる感染症と対応 / 岩坂 俊基 (新日本科学) [14:00～14:30]
  6. 日常的に問題となる感染症と対応 / 佐久間 善仁 (LSIメディエンス) [14:30～15:00]
- 質疑 [15:00～15:10]
- 休憩 (20分)
- セッション 4** 座長: 平川 公昭 (新日本科学)
7. 大腸バランチジウムとその対応 / 中村 紳一郎 (滋賀医科大学) [15:30～16:00]
  8. カニクイザル大規模繁殖コロニーにおける病原体の除去 / 高野 淳一郎 (医薬基盤健康研) [16:00～16:30]
- 質疑 [16:30～16:40]
- 総合討論** [16:40～17:00]
- 閉会の挨拶 [17:00～17:05]
- 懇親会 / 会場: 学内カフェテリア「さくら」 <4,000円; 要事前登録>** 17:30頃～2時間程度

ポスター発表を募集しています。サル類に関するものであればジャンルは問いません。

★問合せ・参加申請・ポスター申込: [sped.itagaki@gmail.com](mailto:sped.itagaki@gmail.com)

★ポスターセッション時、ご自由にお摂りいただける軽食を準備しておきます。